

まちづくりを通して共に学び **共学** 共に育つ **共育**

第4回

Chubu University

中部大学 地域連携

Kasugai City

市民フォーラム

2016

参加
無料

主催 中部大学

後援 春日井市

開催
日時

平成28年 **10月22日(土)** 14:00~16:00(13:30 開場・受付)

健康錬筋術のすすめ

東北大学大学院 医工学研究科 教授

永富 良一 氏

アンケート調査から見る 世代間交流の可能性と現状

中部大学 生命健康科学部 理学療法学科 准教授

戸田 香

開催
場所

春日井市
東部市民センター
ホール

春日井市中央台2-2-1
TEL.0568-92-8511

【交通のご案内】

- JR中央本線「高蔵寺」駅下車
(名古屋駅より快速で約26分)
- 名鉄バス、高蔵寺駅北口のりばより
「高森台」(約8分)下車、徒歩約4分
 - ▶ 4番のりば…かみや団地口、福祉の里、高森台北
 - ▶ 4番のりば…桃花台センター(春日台経由)
 - ▶ 5番のりば…石尾台南



中部大学



春日井市と連携し、大学の「人材」「技術」「知」を活用して、地域の活性化に取り組んでいます。

平成25年度、中部大学の「春日井市における世代間交流による地域活性化・学生共育事業」が、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、全学的に推進しています。この事業は、自治体、地域NPO、住民が大学のキャンパスの壁を越えて融合し、持続可能な新しい未来社会とその教育を春日井の地に実現することを目的としています。そのために、この事業の内容・趣旨を地域の皆様にお知らせし、事業への協力と積極的、自主的関与を依頼する機会として市民フォーラムを開催する運びとなりました。

※大学COC(Center of Community)事業は、文部科学省が推進する「地(知)の拠点整備事業」で、国が地域の課題解決に取り組む大学を支援するものです。

第4回 中部大学 地域連携市民フォーラム／開催プログラム

13:30～ 開場・受付開始

14:00～14:20 開会挨拶
来賓挨拶

中部大学 学監／地域・国際連携教育研究センター長 松尾 直規
春日井市長 伊藤 太 氏

14:20～15:10 講演 ①
健康錬筋術のすすめ

日本は世界一の長寿国であるにも関わらず、健康寿命は必ずしも世界一ではありません。これは晩年に自立した生活ができなくなる人の数が多いからです。本講演では健康寿命の延伸のための知恵をお話します。体を動かすときに利用するのは筋肉ですが、使わない筋肉は萎縮します。逆に繰り返し使っていれば利用状況に応じた状態を維持することができます。日常生活で何かうまくできないことがあれば、それを1ヶ月くらい練習すれば、再びできるようになる可能性があります。スポーツの筋力トレーニングも同じ理屈です。関節の痛みや肉離れは回復に時間がかかるので避けるべきですが、遅れて起こる筋肉痛は我慢する価値があります。動ける筋肉を保つためのコツをお話します。



東北大学大学院 医工学研究科 教授

永富 良一 氏

【講師プロフィール】

東北大学大学院医工学研究科教授・副研究科長
昭和59年東北大学医学部卒・医学博士
運動・スポーツ医学の専門家、
子どもから高齢者まで、虚弱者からスポーツ選手まで、故障しない元気な体づくりの研究を推進している。
東北大学医学部医学科卒業。東北大学教養部保健体育学科助手、同医学系研究科助手、同医学系研究科障害科学専攻教授を経て、現在に至る。
博士(医学)
トレーニングによる骨格筋の適応、骨格筋損傷・修復のメカニズム、高所・低酸素トレーニングのメカニズムの解明、運動・ストレス時の免疫系の変化、ウェアラブルセンサーによる動作・行動解析、スポーツ障害の予防、健康増進のための運動などを主要な研究テーマとしている。

15:10～16:00 講演 ②
アンケート調査から見る世代間交流の可能性と現状

高蔵寺ニュータウン(NT)では少子高齢化と人口減少が顕在化しています。平成24・25年に高蔵寺NTで高齢者を対象とした生活関連のアンケート調査を実施し、約2300人からご回答を頂きました。調査結果から世代間交流の可能性を検討するとともに、「世代間交流による地域活性化・学生共育事業」を展開している中部大学COCの世代間交流活動についてご紹介します。



中部大学 生命健康科学部 理学療法学科 准教授

戸田 香

【講師プロフィール】

昭和63年：名古屋大学医療技術短期大学部理学療法学科卒業
平成20年：名古屋大学大学院医学系研究科 博士(医学・論博)
平成21年：中部大学生命健康科学部理学療法学科准教授(現在に至る)
中部大学COC推進委員
研究テーマは「内部障害の理学療法」「地域理学療法」
日本理学療法士協会、日本リハビリテーション医学会、日本体力医学会、日本糖尿病学会 会員

◆主催／中部大学◆後援／春日井市◆

キャンパスを春日井のまちに広げ、講義で得た専門知識を使って、学生が地域の人と人々を結びつけるメディエーター(媒介者)となり、地域の様々な課題に主体性をもって取り組んでいきます。この中部大学式 人材育成体験プログラムを通じて、建学の精神「不言実行・あてになる人間」を身につけた学生には、本学独自の資格『地域創成メディエーター』を認定。2015年度に「地域共生実践～春日井市問題発見のすすめ～」を講義として新設しました。

さらに、学生の成長を飛躍させる取り組みとして…

中部大学生がさまざまな形で関わる「地域との関わり体験プログラム」を導入しています。

- 報酬型インターンシップ**
「報酬型」「給与を得る」+「インターンシップ」「就業&育成」
=人材育成を目的とした就業体験
- 高齢者・学生交流 Learning Homestay**
高齢者宅に学生がホームステイすることで、ニュータウンの高齢化問題を解決する新しい試み
- シニア大学** 中部大学アクティブアゲインカレッジ (CAAC: Chubu University Active Again College)
高齢者のセカンドライフづくりに貢献
- キャンパスタウン化**
大学とニュータウンが一体化し、広がる学びの場
- 生活・住環境を考えるまちづくり**
地域の人々が安心して快適な生活を送るための研究を促進
- コミュニティ情報ネットワーク**
地域の人々の役に立つ情報ネットワークの構築を目指す

※「地域との関わり体験プログラム」など、詳しくはホームページ(下記アドレス)をご覧ください。